

2009 - 2010	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
企画展・特別展	ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密展 4/11 - 6/14				太宰治展 7/11 - 9/6 馬場のぼる展 7/29 - 9/6					ラブラブショー 12/12 - 2/14		
常設展	[春] ユーモアと祝祭 - 笑う前衛 / 似顔と肖像 4/8 - 6/28				[夏] 常設展示 6/29 - 9/6			[秋] 祈りと瞑想 / ピカソ『女の頭部、横顔』特別公開 9/11 - 12/25			[冬] 春を待つ祈り / 人間を彫る 1/1 - 3/22	
共催・協力展				相田みつを全貌展 6/23 - 7/20				吉村作治の新発見! エジプト展 9/19 - 11/23				

## 企画展

### ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密展

4月11日 - 6月14日

ヨーロッパを代表する美術館のひとつ、ウィーン美術史美術館が世界に誇る至宝、日本初公開となるベラスケスの『薔薇色の衣裳のマルガリータ王女』をはじめ、「静物画の秘密」をテーマに珠玉の名作75点が青森にやってきます。

### 馬場のぼる展 (仮)

7月29日 - 9月6日 (予定)

代表作「11ぴきのねこ」シリーズをはじめ、独特のユーモア溢れる作品世界で現在もなお多くの人々に愛され続けている三戸町出身の漫画家、馬場のぼる(1927-2001)。本展では漫画、絵本の原画や関連資料等により活動の全貌を紹介します。

### ラブラブショー - シンフォニー、そしてポリフォニー (仮)

12月12日 - 2月14日 (予定)

## 特別展

### 生誕100年記念太宰治展 - 津軽とモダニズム (仮)

7月11日 - 9月6日

2009年の生誕100年を記念して県近代文学館と共同で開催する特別展。本展では、「津軽とモダニズム」というテーマで、太宰を育み、作品に描かれた津軽の文化や生活の風景などを、当時の資料や芸術家達の作品を通して幅広く紹介するとともに、共に当時の新しい芸術運動に触れ、大きな刺激をうけていた青森時代からの友人を中心とした芸術家達のネットワークを紹介し、今なお新鮮な魅力を放っている太宰治の世界にせまります。

## 常設展

「笑い」と「祈り」をテーマに、前期〔春〕と後期〔秋、冬〕にわけて展示します。

### 〔春〕 ユーモアと祝祭 - 笑う前衛 / 似顔と肖像

4月8日 - 6月28日

あふれる生命力を独特のユーモアと共に表現した棟方志功に代表されるように、「笑い」は華やかな祝祭としての芸術の重要な要素でもあります。1960年代を中心とする現代美術の作家達はユーモア、諷刺などさまざまな「笑い」を武器に新しい世界を切り開きました。また関野準一郎は、顔を似せるだけでなく作品や仕事の特徴をおりこんで、知的なユーモアに彩られた画家や文学者などの版画による肖像を制作しました。春のコレクション展はこれらの作品を中心に、生き生きとした「笑い」の精神をテーマに展示を構成します。

### 〔夏〕 常設展示

6月29日 - 9月6日

特別展・太宰治展のため、夏のコレクション展はお休みします。シャガール、奈良美智、寺山修司の各展示室、あおもり犬については通常どおりご覧になれます。

### 〔秋〕 祈りと瞑想 / ピカソ『女の頭部、横顔』特別公開

9月11日 - 12月25日

「祈りと瞑想」をテーマに、小坂圭二の宗教彫刻や、小野忠弘の作品を紹介します。また、ピカソの銅版画『女の頭部、横顔』の、現在世界に一点しか確認されていない貴重な「第一ステート」を公開します。

### 〔冬〕 春を待つ祈り / 人間を彫る

2010年1月1日 - 3月22日

## 共催・協力展

### 相田みつを全貌展

～未公開の初期作品から晩年の作品まで～

6月23日 - 7月20日 主催：青森朝日放送、テレビ朝日、東奥日報社

### 吉村作治の新発見! エジプト展

～国立カイロ博物館所蔵品と～ (予定)

9月19日 - 11月23日 主催：青森テレビほか

## パフォーミングアーツ / シネマ

※「パフォーミングアーツ / シネマ」の詳細日程はそれぞれお問い合わせください。

### ダンスアレコ青森 Lab' #4・5・6

当館が所蔵する「アレコ」の原作「ジブシー」を題材とした、県内在住のダンサー等による実験的なダンス作品を計6本上演するプロジェクト。今年度は#4・5・6の三作品を上演します。

### 青森県立美術館コンサート「楽の音・日本の音」(仮)

7月より月1回、アレコホールでのコンサートを開催します。今年度は県内外で活動中の演奏家が、アレコホールで金管・木管・邦楽など多彩なジャンルでコンサートを開催します。

### 定期映画上映会

日頃観る機会の少ない映画作品の上映会を定期的に行います。今年度は「淀川長治映画史」、インドを代表する映画監督・サタジットレイ、日本のドキュメンタリー映画監督・佐藤真の作品をシリーズで上映します。